

1 学期始業式式辞

4月は新しい年度がスタートする月です。いろいろなことがリセットされます。これを機に、新しいことに挑戦しましょう。自分の夢の実現のため、小さな目標を決めて、スモールステップでいいので、何か始めてみましょう。何かやろうと決心すれば、自然と自分が変われます。

学校全体としては、「みそあじ」運動に挑戦したいと思います。「みそあじ」は四つの言葉の頭文字を合わせたものです。聞いたことのある人もいると思います。中学校時代に実践していた人もいるかもしれません。これは自分たちの生活は自分たちでよくするという生活改善のための運動です。

皆さん四つの言葉を想像できますか。「み」は？「みだしなみ」の「み」です。身だしなみを整えましょうということです。「そ」？＝「そうじ」、掃除をしっかりと、自分たちの身の回りの整理整頓を心がけ、いつもきれいにしておきましょう。「あ」？＝「あいさつ」、大きな声で自分からあいさつをしましょう。「じ」？＝「じかん」、自分のため、また相手のため時間を大切に、約束の時間を守りましょう。

「みそあじ」運動は、自分たちの学校は自分たちで作るベースになるものです。やらされるのではなくて、自分で意識して生活するものです。皆さん一人一人が「みそあじ」運動を実践してくれれば、榛高は居心地のいい、素敵な学校になると思いませんか。

さて、昨年度のキーワードは「始めようと思えば始まる！」でした。自己を見つめ直し、自分の強みや弱みを発見し、自分を高めるための努力を始めた人もいると思います。

令和5年度の榛高高校のキーワードは「**全員参加が基本！** 活気あふれる小さな学校～あっとほ一む榛高～の実現。一人一人が目標に向かってチャレンジし、全員が主役になれる学校」としました。

活気あふれる小さな学校～あっとほ一む榛高～の実現のためには、一部の人間だけでは実現不可能。全員参加が基本で、力を合わせて活気あふれる榛高にしましょう。また、一人一人が自らの目標に向かってチャレンジし、主体的に実践することで自分を高めることができます。1年後のなりたい自分を想像してみてください。どんな自分でありたいですか。

ところで、皆さん、WBC（野球の世界大会です）は見ましたか。日本チームが世界一になり、日本中が大いに盛り上がりました。特にMVPとなった大谷選手の二刀流の活躍が光りました。その大谷選手は二刀流について、「自分には無理だ」「自分には才能がない」と思えばその通りになるが、逆に「絶対にできる！」「自分の才能は無限大だ！」と考えれば、その通りになるはずだと言っています。「できる、できないではない。やるか、やらないかの問題だ」というのです。これは二刀流だけの問題ではなく、すべてのことに通じていると思います。「どうせ、できない」とはじめから諦めている人はいませんか。もったいないですよ。

先生方はやる人を応援します。ぜひ、やる人になってください。